

食育活動の展開 P a r t VI

奨励金番号 5-7 G

バイオサイエンス科 3年課題研究 (農産加工班)

<研究の流れ・成果報告>

私たちは、日本の農業を今より活性化させ、農業就農人口をあげるため、農産加工部にて先輩方が長年取り組んできた「食育」にポイントをあてることにした。そこで私たちは新しい農業の可能性を広め、同時に独自の食育の発展形となる活動を行いたいと考えた。

農作業、料理の考案・調理を自ら行う「食農教育」あぐり塾を行うことから始まり、その食品の販売体験も実施することができた。

また、新たに「農福連携」として、地域の支援学級に通う子供たちとその保護者とのあぐり塾も開催した。

同時に当初よりの計画であった緊急避難食の開発にも成功した。

この1連の流れを簡単に報告する。

<あぐり塾の開催>



(あぐり塾に参加頂いた方々)



製造した1000食、すべて完売!

